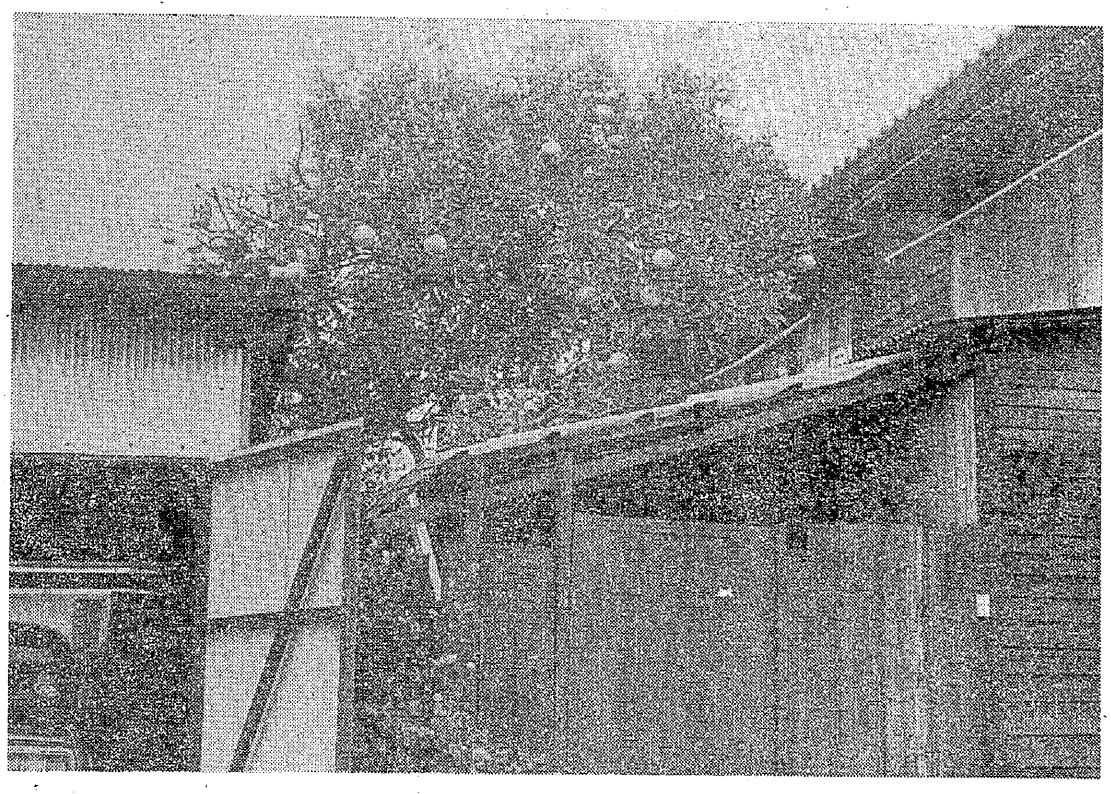


四山社宅（福岡県側）46棟の庭に、たわわに実つた夏ミカン。春呼ぶ雨に濡れたその黄いろな肌が淡く光りを放ち、炭鉱労働者家庭のつましい生活を語つていた。明日はきつと、陽が輝くことだろう。

大牟田で国際婦人デー集会

革新自治勝ち取ろう

婦人の権利確立とともに

去る三月九日午後五時三十分より、大牟田市福祉会館・研修室において、第十八回国際婦人デー大牟田地区集会を開催しました。勤め帰りにもかかわらず、約七十名の婦人が結集し、国際婦人デーの意義と地方選勝利にむけて意志統一しました。

一九〇八年、世界恐慌でニューヨークの婦人がパンよこせ・参政権を！――と立ち上がり、一九一〇年以来、全世界の婦人が政治的に社会的に、権利の確立と平和のために連帯して闘う日、三月八日を〝国際婦人デー〟として、六十九年の歴史が重ねられています。

木村代表のあいさつのあと、大地評政治局の皆さん（つぼぬま知事候補代理として待鳥さん、浦川県議、長谷川県議、川口市長候補、蓮尾、湯村、近藤、猿渡、山本、橋口、安部、帖地、百田〈荒尾〉の各市議候補）が出席され、代表して川口六平市長候補より決意のことばをいただきました。

あと記念講演として、細谷治嘉衆議院議員より「政治と婦人」のテーマでお話しいただき、革新県政、革新市政を勝ち取るよう熱い合い、散会しました。

×

この項は、平川・三池主婦会事務局長記。

なお、この日の集会の様子を伝える写真が、主婦会の山本恵美子さんから提供されていますが、本号に間に合わず、次号に紹介させていただきます。

【編集部】

教育

老母と選挙

本所ひまわり分会　一主婦

私に八十四歳の老いた母がいる。年に四回国から支給される恩給が、ひとつの生きがいになっているらしい。

恩給は、教員をしていた亡夫の扶助料と、戦死した息子の遺族年金である。後者の方が金額が多く、両方を合わせると月に十万円以上になる。時々それを拝借させてもらって助かっているが、孫に小遣いをやったり、お寺に詣ったりで、結構使い道はあるらしい。

軍人恩給が増額されるのを楽しみにしている母は、当然なことに自民党びいきである。発想は単純なことで、社会党はそれに反対しているのだ、と信じているからである。機会をとらえては、「それは違う。社会党はことさらクローズアップさせて、戦争の痛みをすりかえようとしているのだ。社会党が命がけで戦争に反対しているからいいようなものの、自民党が今以上にのさばったら、いつまた私同じ人間の命が戦争で奪われたのに、兵隊のときの位によって差別している自民党のやり方に反対しているのだ」、といっても半信半疑である。

さらに「自民党は軍人恩給を資本家のためになるような政治しかやらないし、私たちの生活は、自民党を倒さない限りは決してよくならない。また、命の保証だってないんだから」、といって、東ドイツの話などして聞かせているので、この頃ではだいぶん判ってきたようで「そんなら社会党にいれにゃんたい」というほどになってきた。

母は、前記したように八十四歳。今回限りの投票権の行使となるかも知れないが、社会党候補へ母の一票が入ることは間違いないようである。

の夫や子どもたちを戦場に送ることになるかわからない」、といいと少しは判ったようである。

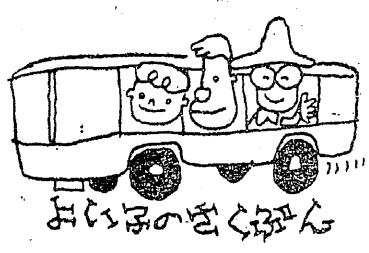
「だから、選挙には社会党にいれんといかんとよ。自民党は

×　×

みんなのこと

しようがく1ねん

まえかわかずのり



おとうさんは、ときどきりょこうにつれていってくれます。

お母さんは、ときどきえいがをみせにつれていきます。

おばあちゃんは、ときどきびょういんにいきます。

おとうさんは、日ようびにやきゅうをします。ぼくはじてんしゃにのったり、えをかいたりします。

おねえちゃんとぼくは、ときどきおるすばんをしています。おねえちゃんはぼくがなにもしないのに、すぐあたまをうちます。ぼくがおねえちゃんに口ごたえやいたずらをすると、おねえちゃんは口をねずみます。ぼくは、「口でいったとに、なんで手でねずむとね」といいます。

おばあちゃんは、ぼくとおねえちゃんとけんかをしたら、はえたたきか、ふとんたたきか、まごのてでたたきます。ねえちゃんの足にはかたがつきます。ぼくの足にはかたがつきません。ぼくはかからだよわいけど力はつよいです。

ぼくは、一人でおるすばんをすることもあります。いつか、一人でぼくは家であばれました。とってもこわかったです。

×

よくかけました。これからも、ノートにどんどんかいてうまくかけるようになりましょう。そしておねえちゃんとも、なかよくしましょうね。

お母さん方へ

今年は〝国際児童年〟に当たります。今ひじょうに深刻な環境にある子どもたちを大切にし、問題について考え、子どもたちのしあわせのために行動を起こしましょう。

――編集部

短歌

新年

三川指導部　町佳郎

新年（にいどし）の幸の足音かかそかにも明け初めし外面を渡りゆく風

新年をうからと来たり旅の宿窓下にしげき川の流るる

日もすがら夜すがら湧きいる温泉に身を温めんと子らを伴う

登りゆく細き山道見え初めし不動尊めざして駆けゆく子らは

身に浴ぶる陽ざしは温し新年の秘かなる抱負も思いつつ歩む

こもごもに挨拶交す同僚の初出の職場に気はずかしくもあり

うらうらと陽ざしやさしも松の内過ぐれば常の生活（くらし）房り来

全通のストはひびきて睦月もなかば越えて届きぬ束なす賀状

われと共に詩歌集編みし友の心こもりし賀状もしみじみと見つず。

編集部

詩

仲間達よ

三川指導部　赤川富平

日本中のあちこちの
若者達から
更に闘う年賀の便りを
今年もたくさん受けた
まだあどけない乙女や青年達
俺達が闘い抜いた三池の火を
北の果てから南の端まで
細々と燃やし始め
やがては大きな炎にする為に
自らも闘い続けている仲間達
今
三池の地底には
三本線はかぞえる程しか残って
は居ない
やがてはその三本線は
きっと姿が見られなくなるか
その時
俺達三池の労働者は負けるだろ
うか
いや負けはしないぞ
恋も
青春も
楽しい思い出も
差別と資本の弾圧でもぎとられ
ていった三十年
あげくの果てには仲間の命まで
も奪い去られた
二十年そこそこの間に六百名も
俺達が闘い続けてきた命を守る
闘い　それは
資本の人殺し合理化が続く限り
差別支配が続く限り
資本が働く者の命の上にのさば
り続ける限り
三池の
他の多くの仲間が立ち上らぬは
ずはない
全国の仲間達よ立とう
新しい夜明けの空をめざして

×

ほかに、三川指導部の平田光男さんからもご投稿いただいておりますが、次号には紹介できると思います。悪しからず。　編集部

新しき思いも多（さわ）に抱きつつ恋しきうからにしたたむる手紙（ふみ）

×

作者から、次の指摘がありました――「前回の私の歌の中で、〝餅つき器とう文明の力おもしろみ……〟の器の字が落ちておりましたので善処お願いします」

なお紙面の限りから、数首割愛させていただきました。悪しから

編集部

子どもと平和展計画

津島市が児童年記念に

【連合】愛知県津島市（井桁克市長、人口六万人）は、国際児童年記念行事として五月五日の子どもの日に、市内の公園に「世界と津島のこども村」を開設するが、その一角に「世界の子どもと平和展」のコーナーを設け、「もし津島に原爆が落とされたら」のパネルを展示することにしている。

パネルは広島、長崎の原爆投下で破壊された建物や神社の写真と、それに似た津島市内の写真を対比させ、「原爆の恐ろしさ」を知ってもらおうというもの。同市の平和教育はこれまでも定評があった。